



つなげよう！ 60人メッセージリレー！

「つなげよう！60人メッセージリレー！」では、「これからの広川町」というテーマで町内に在住の人または町内に勤務している人のメッセージをバトンに、60人につなぐリレーを行いました。未来の広川町に届ける60人の温かいメッセージをご紹介します。

テーマ 『これからの広川町～希望・展望～』

1



広川町も発足60周年を迎えました。人生で言うと還暦です。これを機に新しい町づくりに励みます。皆様の更なるご協力をお願いします。

2



今年、私も広川町と同じく還暦を迎えました。私の身体機能には疲労が見え始めましたが、町の60周年は、さらなる豊かさを実現し発展につながる、成熟期の入り口に在るものと思います。

3



教育は、町づくりの原点。地域の力に支えられて、大いに学び、広川町の素晴らしさを実感する子どもたちを育てたいものです。

4



広川町の農産物は、自慢できる作物ばかりです。自然と共存しながら地域を守る大切さを子どもたちにも伝え、農業の発展につなげたい！

5



自然豊かで人と人とのつながりがある広川町を目指して、これから勉強に励み、更に僕たちは広川町を担う人材になります。

6



私の考えるこれからの広川町は、広川町に住んでいる人たちで交流できる行事をたくさん作ることです。みんなが仲良く支え合える広川町になって欲しいです。

7



子どもを取り巻く環境も変わりました。今後も子どもたちの学びの環境整備が推進され、安心安全に学習できる広川町であって欲しい。

8



広川町に残る古く歴史ある建物はあまりにも少ないことに驚きました。次の世代に広川町の素晴らしい歴史と自然を残していきたい。

9



「若者よ、広川町に根を下ろせ！！」おっちゃんたちは、住みやすい広川町を一生懸命つくり続けます。みんなの広川町、次は100周年だ。

10



広川町は、今以上に变革を求められている。子どもたちの未来永住の為に必要な事、革新を創るのはバカ者・ヨソ者・若者ということだ。

11



この町で生まれ育ち、今思うこれからの広川町は、これまでと変わらぬ人と生活の温かみが残る、程よい田舎であって欲しいと願います。

12



この広川町をもう一度足元から見つめ直し、再発見する事が大切だと思う。広川町の自慢を探して町全体でさらに発展して欲しい。

13



みんなが安心・安全に暮らせる町にするために僕たち若い世代が交流を深め、防犯に協力して頑張っていきたいと思います。

14



年配から若い、それぞれの世代が住みやすい町。どちらかに負担がかからないようバランスのとれた町政を考えて実行して欲しい。

15



高齢者から赤ちゃんまで、みんなが安心して暮らせる町、そして広川町に住みたくなるような、魅力的な町になって欲しい。

16



広川町町制施行60周年、誠におめでとうございます。先人たちが築き上げられた住みよい広川町に感謝し、これからの町づくりに貢献したいです。

17



次世代を担う今の子どもたちや未来の子どもたちが、いつも笑っていられるような楽しい未来を望んでいます。

18



主な産業である農業のさらなる発展のために魅力ある農業のあり方や担い手の育成に力を入れた活気ある町。

これからの広川町 ～希望・展望～

19



広川町の基盤である農業発展の為に町を挙げて、1次産業への手厚い支援及び6次産業化を進めていき、地域活性化を行って欲しい。

20



広川町と言えば高速道路のSA、久留米餅やイチゴなどのフルーツのほか農産物が有名です。わが町は小さい町ながらキラリと光る個性を持った町だと思います。そんな個性をこれからも大切にして行けたらいいですね！

21



60周年おめでとうございます。久留米餅やフルーツなどの観光資源の魅力をより一層PRし、さらに元気な広川町になる事を願っています。

22



自宅の周りは、いつも元気な子どもたちの声が聞こえてきます。いつまでもそんな広川町であって欲しいです。

23



今、子育て支援センターをよく利用し、一人目の子どもですが不安なく過ごせています。今後も子育てのしやすい広川町であって欲しいです。

24



さまざまな方とふれあい、支え合う心の大切さを学び知ることができる「広川町」であって欲しいです。

25



今の広川町は、田舎で店が少ないので、もうちょっと店などができて、もうちょっと都会になって店が増えたらいい。

26



モノレールか電車の駅ができて欲しい。そうならば、大学生や社会人になっても家から通えるからいつまでも広川町に住める。

27



ぼくは、ごみが落ちていない町になったらいいと思う。それは、缶拾いの日にゴミが落ちていて集めるのが大変だったからです。

28



未来の広川町は、今のままの自然、緑がいっぱいの素敵な町であって欲しいと思います。やっぱり、今の広川町が一番好きです。

29



一人一人が大切にされ誰もが安心して暮らせる町。そんな町を目指して、自分のことから始めましょう。まずは、私から！

30



高齢社会。高齢者を地域の高齢者が支える社会を地域の力・助け合い・絆で安全で安心して暮らせる明るいやさしい町であって欲しい。

これからの広川町

～希望・展望～

31



自分たちにあった暮らしができる町づくりが必要。そのためには、各地域のコミュニティをみんなで考え実行すること。知恵と工夫と仲間達。

32



少子高齢化が進む中、行政・民間企業、地域住民が連携して、普段の日常生活の中に見守りの仕組みを作れたらいいなと思っています。

33



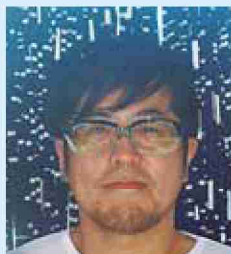
障害があってもなくても老いも若きもあなたも私も誰もが心身共に健康であたりまえに、ありのまま生活ができる広川町の一助になりたい。

34



広川町は、緑豊かで災害も少なく住みやすい町です。今後も自然を守り皆で助けあいながらより住みよい町になるように願っています。

35



僕ら世代が住みやすい、子育てしやすい町づくりを。また、活気ある町づくりを期待します。

36



自分が生まれ育った環境のまま治安が良く子どもを安心して育てられる町であって欲しいと思います。

37



皆で広川町のことを
考え、大きな自治体
に負けていない広川
町を創りましょう。
そして、子どもたち
に活力あるふるさと
を残そう！

38



じいちゃんとはあ
ちゃんになっても手
をつなぎ笑って歩け
る町。

39



町制60周年記念の節
目にあたり、歴史と
文化、地域のつなが
りを今の子どもたち
に語り継ぎ、地域の
皆さんがよりよい広
川町を創り続けてい
く！

40



未来ある子どもたち
の為、そして素晴ら
しい生活環境を守る
ため、これからも安
心・安全な町づくりと、
活気ある農・商・工の
発展を期待していま
す。

41



古より流るる広川、
風にそよぐ緑。不易
流行。昨日に続く今
日、明日も穏やかで
と願う。縁側での語
らい。花には水、人
には言葉。

42



菓子袋や買物袋など
あらゆる石油製品の
再利用をこの広川町
から発信して欲しい。
この豊かな美しい地
球を次世代に手渡し
のために。

これからの広川町

～希望・展望～

43



最近、広川町も少子高齢化が進み、若者が少なくなってきている。そのため、少子高齢化対策をし、老若男女、活気のある町にしたい。

44



近年、町の人口は減少している。全年齢が参加できるイベントを開催し多くの人々に広川町を知ってもらえればより良い町にできると思う。

45



広川町が進歩するには、現在行っているイベントなども向上させ、新しいイベントで、どの世代でも楽しめるものが必要だと思う。

46



我らの町。それは自然の宝庫。私はそんな美しい広川町に住んでいる。60年間の歴史を生き続ける町。広川に「ありがとう」。

47



ラジオ体操をする為広中のグラウンドを埋め尽くした千七百もの人々。一致協力を惜しまぬ心こそいつまでも大切に伝えて行きたいと思う。

48



多くの健康な高齢者が住む豊かな広川町づくり。その為には自分自身がいろんな趣味・運動に取り組み元気な高齢者になりたいと思う。

49



広川町の人たちの笑顔がもっと増えるように、これから勉強や部活（スポーツ）に励み、町の活性に努めていきたいと思っています。

50



毎日胸の痛くなるような事件が報道されています。子どもたちが笑顔で安心して暮らせる広川町になって欲しいと願っています。

51



時代や地域によって子育て中の悩みは様々です。育児奮闘中のママたち、行政、相互で子育てしやすい町づくりを考えていきたいです。

52



自然が豊かに残る環境ですので、その中で子どもがのびのびと体を動かして遊びを楽しめる公園が増えることを期待しています。

53



広川町は、他に比べてとても住みやすいと思います。子どもが遊べる公園などが増えるともっと住みやすくなると思います。

54



子どもたちが、そしてまたその子どもたちがずっと住み続けたいと思えるような、住みやすい自慢の広川町！

これからの広川町

～希望・展望～

55



住み始めて2年ですが、子育て支援センターなどを利用して楽しく過ごしています。大通りなどに歩道があるともっと安心して過ごせるなあ。

56



町内にいくつか公園があり、特に竜光寺公園は閉鎖的なので、開放的な明るい空間となって、もっと小さい子どもでも遊べる遊具が増えることを願っています。

57



‘職住近接’高齢者や子育て世代に対応した良好な住環境と、多世代の多くの人が集まる広川町であって欲しい…願いを込めて…。

58



自立した日常生活又は社会生活を営むことができる広川町・障害の有無にかかわらず相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる「弱者に優しい町」であって欲しい。

59



人に今、必要なのは「地域の役に立つ心」です。人材を発掘して教育の場を設け、町独自のマイスター制度を作って達人の町にしよう。

60



60周年おめでとうございます。広川町がもっともっと人に優しく住みやすい町になることを願っています。これからもよろしくね。